

（令和7年度 日本ビクター・JVC ケンウッド退職者の会）

JVCKW シニアクラブ

（文責・総会書記：西郷 治男）

■日時：2024. 10. 23(水) 12:00～13:00

■場所：横浜西口「グレースバリ・横浜ハマボール・イアス店」7階（横浜市西区北幸 2-2-1）

1. 開会 [12:00]

◆司会の宮本副会長より挨拶。

・今年もこの場所で開催となる。議案書 2 ページ記載の物故者(2 名)に対し、ご冥福お祈りし黙祷する。＜茨城支部＞中井 敦(R6.2.24、83 才)、＜同支部＞田村芳直(R6.2.29、84 才)(敬称略)

◆次に、議長選出の事務局案(浅見憲一氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出 [12:05]

◆議長の浅見氏が登壇、挨拶の後に書記に西郷が任命された。＜参加者:46 名(来賓 2 名含む)＞

3. 会長挨拶 [12:06]

◆高石会長より挨拶。

・2019 年に初代会長・菅沼さんからバトンタッチして 5 年が経過した。その間、コロナ禍で活動もままならない状況が続いたが、幹事の皆さんの努力で様々なイベントが実施出来た。振り返ってみると、2002 年シニアクラブ立ち上げ以降、2011 年に東日本大震災で私の住んでいる水戸も震度 6 弱を経験、2020 年はコロナ感染拡大、そして 2022 年は安倍元首相暗殺など色々な出来事があった。

・当シニアクラブも生き生きとした老後を、という趣旨のもとで会員増による組織拡大を図ってきたが、平成 26 年をピークに会員は徐々に減少しており、各人が年々歳を取ると共に体調不良などによりイベントや会議にも出られない人が増加しているという状況になっている。

・私は今日で会長職を降りることになり、後に代わる人達に頑張って引き継いでいてもらいたい。これからは 2040 年問題という団塊の世代ジュニアが 65 歳になる年に、年金問題など現行制度で果たして耐えられるのかという大きな課題がある。このことは衆議院選挙でも誰も触れないテーマであるが、様々な観点から色々な方向付けにより何とか解決していかなければならない重大な問題である。

・これからもJVCKWシニアクラブが益々発展できますことを祈念し、私の最後の挨拶とする。

4. 来賓挨拶 [12:13]

◆JVCケンウッド労組・藤田委員長より挨拶。

・本日の第 23 回総会開催を心よりお喜び申し上げる次第である。

・まず、会社の経営状況について説明する。JVCとケンウッドが経営統合した 2010 年以来、2023 年、2024 年と最高益を続けており、大きな要因は無線機が好調で利益率も高いことがポイントである。カーエレクトロニクスやAVも利益率は高くないが、何とか順調に利益を出している状況にある。

・シニアクラブにおいては、コロナ前と同じような活動が現在も出来ていることは大変喜ばしいことであり、そのため日頃から役員の方々の精力的な努力に対して敬意を表する。

・当労組の組織も少しずつ落ち着いてきており、シニアクラブからは何とか若手を入れたいとの要望を頂いており、何かご協力できるように今後はその対応等も考えていきたい。

・今後もJVCケンウッド労組へのご支援と共に、JVCKW シニアクラブの益々の発展を祈念する。

5. 報告 [12:16]

◆田代事務局長より、(1) (2)一括で報告。

(1)令和 6 年度 活動報告

＜議案書 1～2 ページ参照＞

・この一年間の活動はシニアクラブ便りやオンラインミーティング報告で都度報告しており、総会案内と共に活動記録(写真保存版)を送付済のため、ここではスクリーンのチャート主体で説明する。

1)この1年の活動を振り返って

①コロナ後、活動再開で総会参加者も増加、「男の料理教室」など新企画スタート

総会は会場を横浜ハマボールに戻して43名が参加。年間行事は11回を案内、新企画「男の料理教室」「シニアの料理教室」もスタートしたが、参加者の顔ぶれはほぼ同じという状況が課題。

②「オンライン会合」は毎月開催、テーマをもとに学習や解説、思い出など意見交換

前半のテーマは「東海道五十三次」で浮世絵を眺め資料から作者の意図や周辺情報など学び、後半は「シニアクラブアーカイブ」をテーマにHPの様々な写真の解説、思い出などで意見交換。

③健康維持のため、季節の変化を楽しむ散策や歴史探訪などを実施

11月には円覚寺で座禅と写経後に鎌倉散策、3月は歴史探訪で深川散策を実施。戸外に出て程よい距離の散策は健康維持のために必要なことであり、今後は散策等の企画を継続したい。

④上部団体・地方 JAM シニアクラブ活動の参加者減少、一方で「練馬のジャズ」は盛況

地方 JAM では役員となりリード役を担うが参加者は減少。今後は地方の仲間との交流を期待したい。一方、大高幹事によるジャズイベントは多数の参加、地元を巻き込んで今後も継続を願う。

2)会員情報 (R6.8.1 現在)

①＜会員数＞ 181名 (昨年比2名減)

1年で6名が新規加入ながら、退会や死亡(2名)もあるため、総数では昨年より2名減。シニアクラブ永遠の目標は組織維持・拡大であり、この一年間70歳未満のヤングシニアの加入促進を重点テーマとして取り組んだ結果、一定の成果を得た。

②＜平均年齢＞ 79.1才 (昨年比0.3才増)

新規加入者がなければ単純に1才ずつ上がるが、この一年間では0.3才の増加にとどまった。

③＜支部別会員数＞ (昨年比)

神奈川 87(±0)、東京 28(+1)、千葉 26(±0)、茨城 33(−2)、群馬・他 7(−1)

④＜年齢構成＞ 70才未満:10名 86才以上:17名

全体の年齢構成は70才未満は10名で、ヤングシニアが増加し、組織の若返りが期待できる。一方、86才以上の終身会員は3名増加し、86才以上は17名となった。

(2)令和6年度 会計収支決算報告

＜議案書2～3ページ参照＞

- ・＜収入＞ 会費(振込、現金)＋労組活動助成費＋前年繰越金で134.1万円。
会費は前年未納者の遅れ納入もあって納入率ほぼ100%で、予算対比99.9%。
- ・＜支出＞ 支出小計105.3万円(計画比92.6%)。主な支出～行事費は総会20.2万円、幹事会20.8万円。活動費は本部・支部行事補助10.5万円、情宣費は18.0万円など。
- ・＜繰越金＞昨年より約9.2万円支出が増えたため、繰越金28.7万円で、前年比約22.6万円減。
前年度の残額として繰越金推移を見ると、コロナ明けR5年度:60万円弱、R6年度:50万円、R7年度:30万円弱となり、コロナ明けから活動が活発化してきた現れである。

(3)令和6年度 会計監査報告

＜議案書3ページ参照＞

- ・会計監査・白岩氏より「7/31現在の財務諸表を厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。

～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

※監査日(令和6年10月1日)、会計監査・白岩仙一氏、君塚範男氏が立ち合い実施。

6. 議案 [12:30]

- ◆田代事務局長より 第1号、第2号議案を提案。

(1)【第1号議案】令和6年度 活動方針に関する件

＜議案書4～7ページ参照＞

1) 私達を取り巻く情勢

- ①世界的に猛暑が続く台風による洪水も多発、日本各地でも豪雨による被害拡大
 - ・世界中が記録的な猛暑で台風は猛威を振るい、日本も線状降水帯による集中豪雨で被害多発。
- ②国連はウクライナ、中東の紛争終結の平和活動と共に、気候変動対策も重要課題
 - ・世界が気候変動問題の取り組みを求める中、各地の紛争解決も無力という国連の任務再認識。
- ③AI 向上で加工情報が氾濫し真偽判断が困難、1つの情報だけでなく関連情報も確認
 - ・AI による映像・音声加工された情報は真偽判断が困難化、関連情報も含めて確認が大切。
- ④溢れる情報に振り回されず、激変する社会を乗り切るには正確な判断力と頼れる仲間
 - ・インターネットやスマホ普及で誰でも自由に情報発信の時代、正しい判断力を持つ努力が必要。

2) 活動の基調

- ①人とのつながりを大切に
 - ・正しい情報を得るには近くに頼れる人がいること。それが「つながり」で、会話を通じて認知症予防ができるのはコミュニケーションがあるから。日常的に人と接し助け合いながら生活することが必要。
 - ②脱「居たきり」
 - ・健康増進のため外に出る機会を作り、街歩きや里山歩きなどウォーキングすることが大切。「キョウヨウ(今日用事がある)」「キョウイク(教育行く所がある)」を心掛けて、家に居る時間から脱出しよう。
 - ③シニアクラブ活動に参加して「イキイキ」と
 - ・昨年度スタートした「男の料理教室(名称変更)→シニアの料理教室」は好評で5回実施。単に料理を作るだけでなく作り方や料理道具など創意工夫する機会となって、老化予防の効果も期待大。
 - ・老化防止には「栄養、休養、運動、刺激」が重要であり、特に刺激は欠かせない要素。
 - ・シニアクラブ会員であることが活動意欲を保つ源。その活動は「刺激を与え刺激を得る場」となる。
 - ④組織拡大への取り組み
 - ・高齢化が進み、健康不安などから退会があつて組織人員は減少傾向。一方、60歳代のヤングシニア加入の取組が緒に就いたところで、今後その加入促進が組織活性化のカギ。
 - ・ヤングシニアへの取り組みは再雇用中の加入、定年退職前の加入も可能として加入拡大を図る。
 - ・加入促進には魅力ある活動が不可欠。ヤングシニアが魅力を感じる活動や意見交換の場づくり。
 - ⑤上部組織との連携
 - ・地方 JAM(神奈川、東京、千葉、茨城、群馬)の各地域で、JVC 以外の仲間達との交流が大切。
 - ・私達の意見、要望を国政に反映させるには JAM の仲間を組織内議員として国政に送り出すこと。
- 【2025 年参議選・JAM 組織内候補】<郡山りょう> 当選に向けて積極的応援活動に取り組み中！**

(2)【第 2 号議案】 令和 7 年度 会計収支予算に関する件 <議案書 8 ページ参照>

- ・<収入> 会費(179-免除 17-直納 22=140)、活動助成費、繰越金で収入合計 111.1 万円。
 - ・<支出> 総会 26 万円(会場値上げで支出増)、幹事会 15 万円(オンライン開催含む)、本部活動費 8 万円、本部・支部行事補助 10 万円、情宣費 15 万円(HP 維持管理費、カラー印刷代他)、郵送料 12 万円(10/1 より値上げ)、その他で 支出小計 104.4 万円。
 - ・<予備費(残額)> 支出残(繰越金)は前年を下回る 6.8 万円。
 - ・会費振込手数料の本部負担軽減のため、できる人から郵貯ダイレクトの活用をお願いしたい。
- ～ (1)(2)一括し、拍手で承認。

◆引き続き、田代事務局長より 第 3 号及び第 4 号議案を提案。

(3)【第 3 号議案】 令和 7 年度・8 年度 役員改選の件 <議案書 7 ページ参照>

- ・今年度は役員改選期(任期 2 年)にあたり、令和 6 年度・8 年度新役員は以下 10 名の体制とする。

《会長》 宮本 信 《副会長》 飯田 耕治郎 《事務局長》 田代 周
《幹事》 浅見 憲一、 井上 純一、 榎本 享二、 菊池正範、 宮田 宏美
《会計監査》 君塚範男、 金子 清一 以上 10 名

【退任】高石 勝巳(会長)、大高 光蔵(幹事)、白岩 仙一(会計監査)

【新任】金子 清一(会計監査) 【再任】浅見 憲一(幹事) ～ (3)は拍手で承認。

(4)【第 4 号議案】 規約改訂の件 <議案書 最終ページ参照>

【改定内容】

第 1 条 (名称及び住所) 労組本部の移動により記載の住所を変更

第 10 条 (役員) 顧問を追加

第 11 条 (役員の選出及び任期) 第 10 条の変更に伴い 2 項を加える

～ (4)は拍手で承認。

7. 新旧会長挨拶 [12:56]

◆高石旧会長より挨拶

・私の後を引き受けていただく宮本委員長、是非よろしくお願いしたい。

◆宮本新会長より挨拶

・高石さんの後を受けて精一杯やらさせていただきますので、今後共よろしくお願いする。

8. 議長降壇、書記解任 [12:58]

◆総会閉会の後、参加者全員で記念撮影が行われた。

<総会後の日程>

■写真撮影(参加者全員)

■交流懇親会(総会参加者の内 44 名) [13:10～15:10] (総会同一会場にて)

以上